



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫 ■ 「聖地旅行」その⑩  
 八日目はいよいよ主イエスの誕生の地ベツレヘムだ。そこはアラブ系住民が住んでいて、エルサレム市街とは新設の高い壁によって隔てられている。そうしないと彼らのテロ攻撃を防ぎきれないという。だからユダヤ人の運転手がベツレヘムに入るのには難しいが、アラブ人であれば入れるという。私たちの場合がそうだった。緊張した面持ちでその壁を越えると、そこは別世界であった。イスラエルはどこに行ってもへブル語の看板である。英語のものは先ず見ない。だが、ここはアラビア文字と同時に英語の看板が目につく。イスラエルには多くのパレスチナ暫定自治区があり、総人口の4分の一はアラブ系である。ここベツレヘムもヨルダン川西岸地区に属する自治区であり、彼らを囲むユダヤ人との抗争が絶えない。前日、この辺りを私たちが通った時には、後ろに武装した国境警備隊のジープが同行してくれたのだが、一瞬、車内には緊張が走った。  
 生誕教会に着いたのは朝の九時頃であった。でもその教会のドアが開くのは十時半だという。つまり一時間半も待たないといけない。しかもじっと立ったままだ。それでは高齢にはきつい。だから教会外に出た人たちも何人かいた。後からいかなればなるほど、主の誕生したというそのスポットにたどり着くには時間がかかる。昨年当教会を訪問したという人たちは、あまりの人ごみで二時間待ってもほとんど進まず、あきらめて帰ったほどだった。それだけに早ければ早いほどそのスポットに早く着けるといふ事情があった。僕らがそこに着いた時にはすでに二つのグループがいて、中で行なわれている司祭たちの祈りの儀式に聞き入っていた。そしていざ開門となった時だった。稲野先生、平湯先生や僕ら男性軍は後から押し寄せてくる人々の波から日本人一行を守るために、スクラムを組むかのようにして、急勾配の狭い階段を先に行かせたのだった。  
 主イエスがまさにこの石灰岩でできた洞窟でお生まれになったのだと思うと、思わずそこにしがみつきたくなるような衝動を覚えたのは僕だけではあるまい。「きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生まれになった。このかたこそ主なるキリストである」(ルカ二・11)と天使が言ったとある。二千年前に、この世界の片隅に、救い主がこの僕を救うためにお生まれになったのだと思うと、そこが身近なものに感じられ、温かな感動が伝わってきたのだ。聖地の魅力は、何よりもこの主との個人的な関わり合いがあることだ。だから、信じる者の足を何度も運ばせる巡礼の地となつてゆくのであろう(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

